

How To Make [Luna]

はじめに

peta-peta pattern vol.24 [Luna]を手にとっていただきありがとうございます。
魔法使いをイメージしたコートのパターンセットです。
モデルが着用しているワンピースは、peta-peta pattern vol.25 [Sylvia]で作ることができます。
コートはSDGrサイズとなりますが、SDボディでも着用は可能です。パターン通りに作るとSDには若干きつめになりますので、前ボタン部分のみごろの重なりを少し減らすようにボタンとホールを前縁寄りにつけることで、ゆとりを出すことができます。その場合は、ボタンつけ&ボタンホールをあける前に、モデルに着せて、様子を見てください。
総裏地付き、裏地の裾をボア生地で切り替えた、やや工程の多いデザインとなっています。裏地は、スカート裏地のCB（後ろ中心）に返し口をあけておき、すべてミシンで縫ってから表にひっくり返す、「どんでん返し」での作り方です。
縫い合わせる順番が違くと、表に返せなくなってしまうので、とにかく手順通りに縫い合わせる、ということが重要です。
あとは、ミシンで縫い合わせる時に、なるべく「しつけ」をしてください。
縫い合わせるラインはできるだけ直線や緩やかなカーブにしましたので、ものすごく縫うのが難しい所は今回はほとんど無いと思います。ぜひ、挑戦してみてください。



model:
SDGr

SDGr size

<各パーツ名称>

サンプルでは表地（黒）別布（グレー）共に綿麻混の平織、ワッシャー加工が入った生地を使用しています。

デザインポイントにハンドステッチ（刺繍糸3本どりランニングステッチ）を入れています。
ハンドステッチの糸は生地の色より少し明るめの色にして、目立たせています。

襟とポケットの装飾には、↓のようなアンティークレースを切り取ったモチーフを使用しています。



スカート部分・裾の柄について

作品見本の裾の柄は、右写真のようにタイル状のレース生地を横1列ずつカットして使用しました。収録しているジグザグもよりのパターンは、このレース生地の柄のスカラップ間隔に合わせて作成した形状となっています。このようなレースを直接コートの生地に縫い付けて柄としても良いのですが、今回はこのレースのすかし部分にグレー色を入れるために、このような形状のパターンを作り、レースと重ねてアップリケ風にしました。
違うレースを使って同じように作る場合、実際に使用するレース生地の柄の大きさに合わせてパターンを作る必要があります。（例2）収録しているジグザグに合わせて、細幅のレースや刺繍リボンなどを組み合わせてオリジナルの柄を作ることができます。（例1）また、柄を入れずに、シンプルに作ることも可能です。
この解説での柄の作り方はあくまで一例として、参考にいただければと思います。使いたい素材に合わせて、お好みにアレンジしてください。



例1:

収録しているアップリケパターンを使い、複数のレースや生地で柄を作る



スカートの裾は少しカーブした形状なので、裾付近には横向きの直線を入れない方が収まりが良いです。



好みのレース・リボンなどをめいつけて柄を作る。間がもたないと感じたら、チュールや生地を重ねたり、刺繍を追加するのもいいと思います。

脇は、できるだけ柄のつなぎ目が自然になるように裁断します。

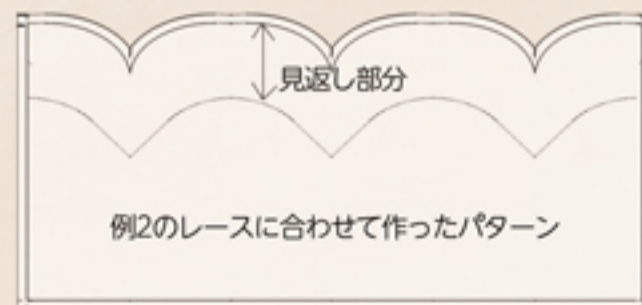
例2:

好みのレース生地を使い、形状に合わせたパターンを作る



↑仮にこのようなスカラップのレースでも、パターンを作れば可能です。

横幅は、収録しているパターンと同じにしてください。

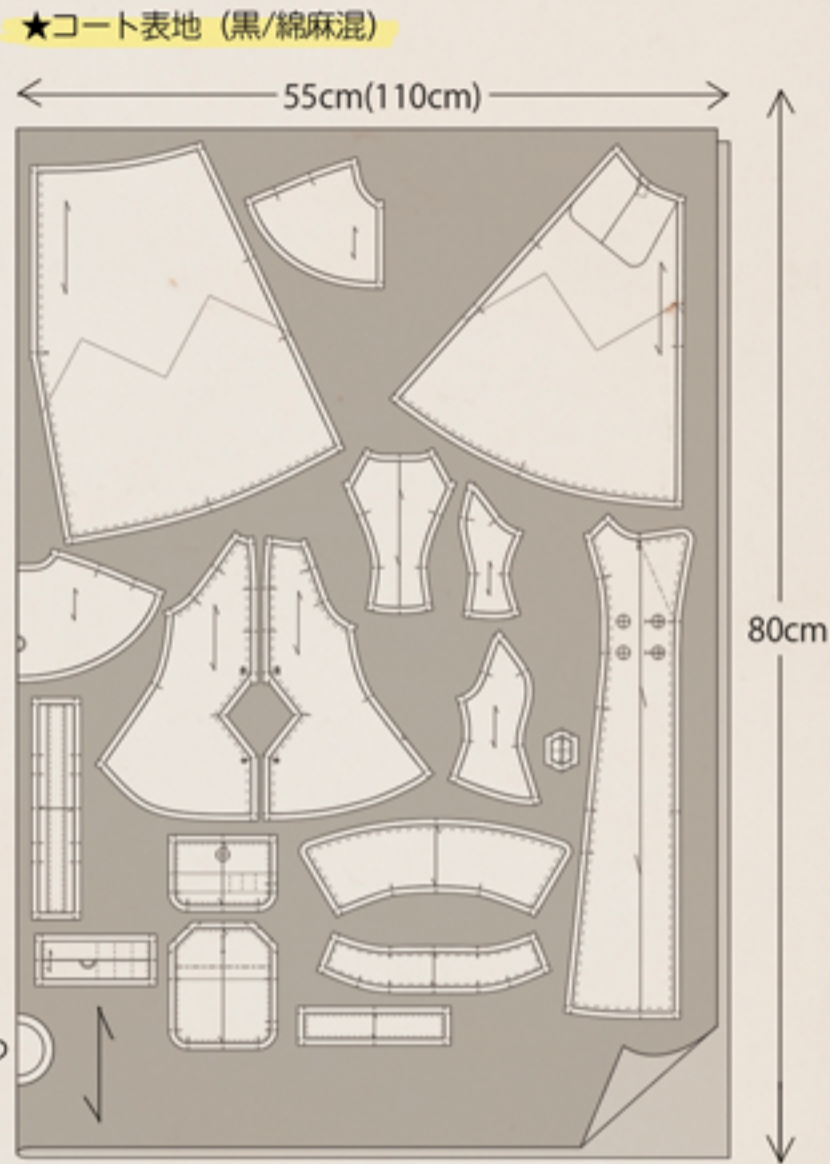


芯地貼り & 生地裁断について

Cutting instruction manual

裁断時の生地取り方(1着分)の一例です。左右対称に2枚取るパーツは、中表に生地を重ねてパターンを固定して、2枚一緒に裁断します。(※ポア生地の裁断についてはp.5参照)

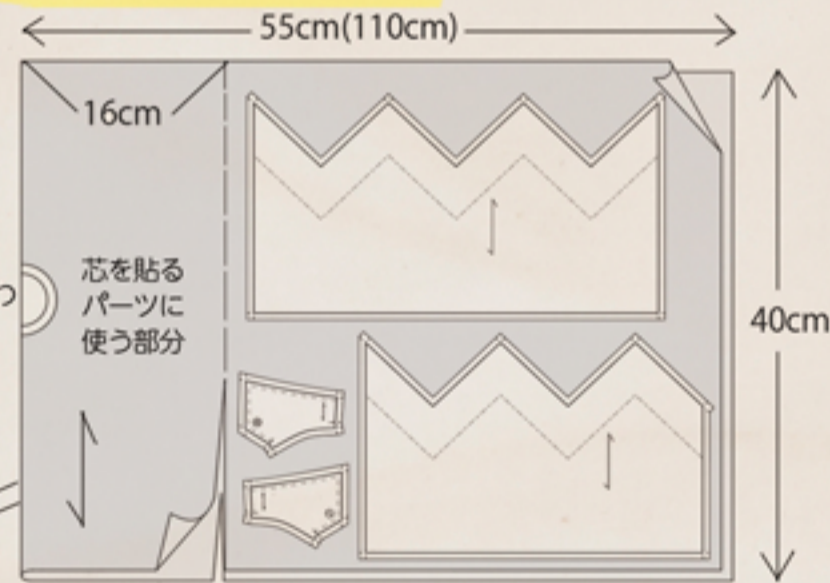
★コート表地 (黒/綿麻混)



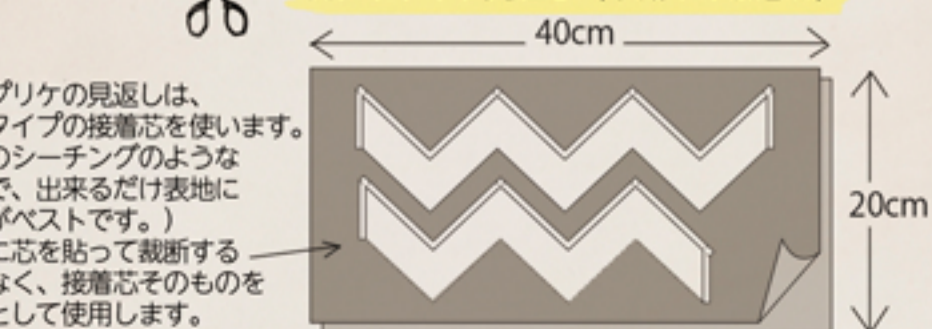
※パーツが1枚余分にとれてしまったときは、綺麗な方を使い、余りは試し縫いのハギレとして使う。



★コート別布 (グレー/綿麻混)



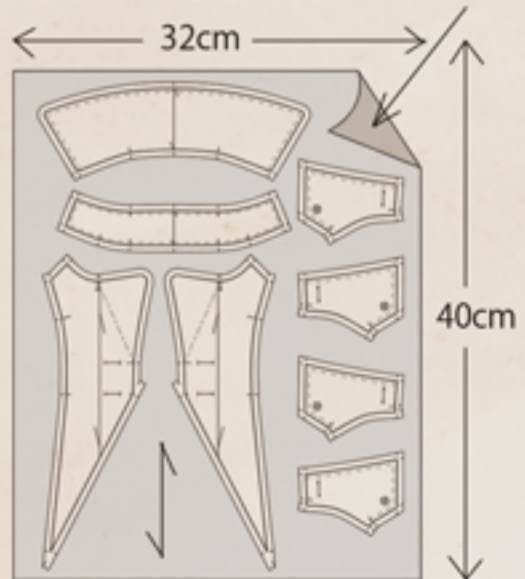
★アップリケ見返し (平織りの接着芯)



※アップリケの見返しは、平織りタイプの接着芯を使います。(薄手のシーチングのような接着芯で、出来るだけ表地に近い色がベストです。) ※生地を貼って裁断するのではなく、接着芯そのものを見返しとして使用します。

★コート別布 (グレー/綿麻混)

裏面に薄手の芯を貼る

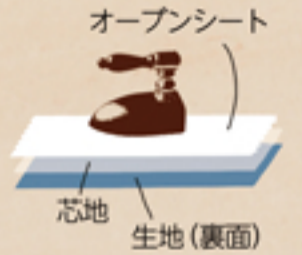


◆まずは地直しを

生地にたたみじわや折り目が付いていると、正確に裁断できず、ぬい合わせる線の長さが合わなくなってしまうので、裁断の前に、必ず地直し(アイロンがけ)を行い、熱が完全に冷めてから裁断してください。

◆裏全面に芯を貼るパーツは、芯を貼ってから裁断する

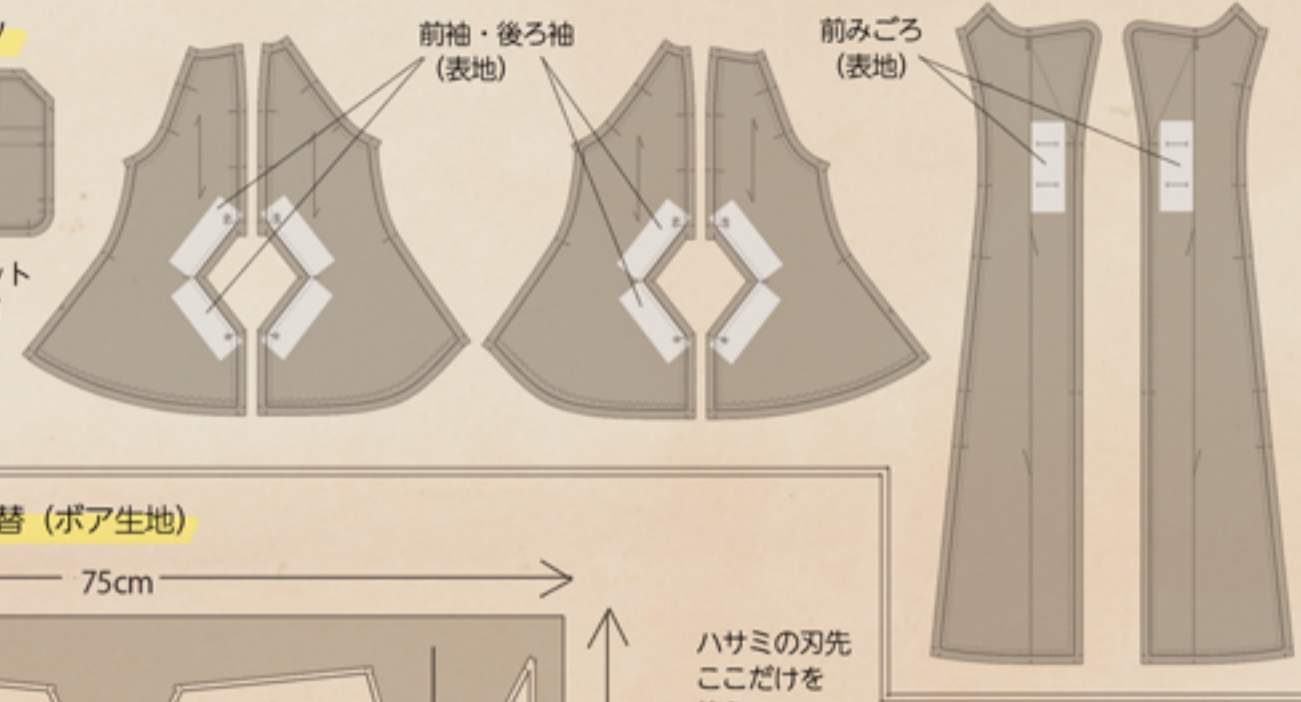
芯地は、ざらざらの面にのりが付いています。のりの面を下にして生地裏面に付くように重ねて、その上にオープンシートを乗せて、紙の真上から低~中温でアイロンを強めに押し付けてしっかりとりのりを溶かして接着させます。芯を接着することで生地が若干収縮するので、完全に熱が冷めて生地が落ち着いてから、裁断します。 ※テープ状の芯は、裁断後に貼っても大丈夫です。全面芯と同様に、オープンシートをあててアイロンで圧着させ、完全に冷めてから縫製に入ります。



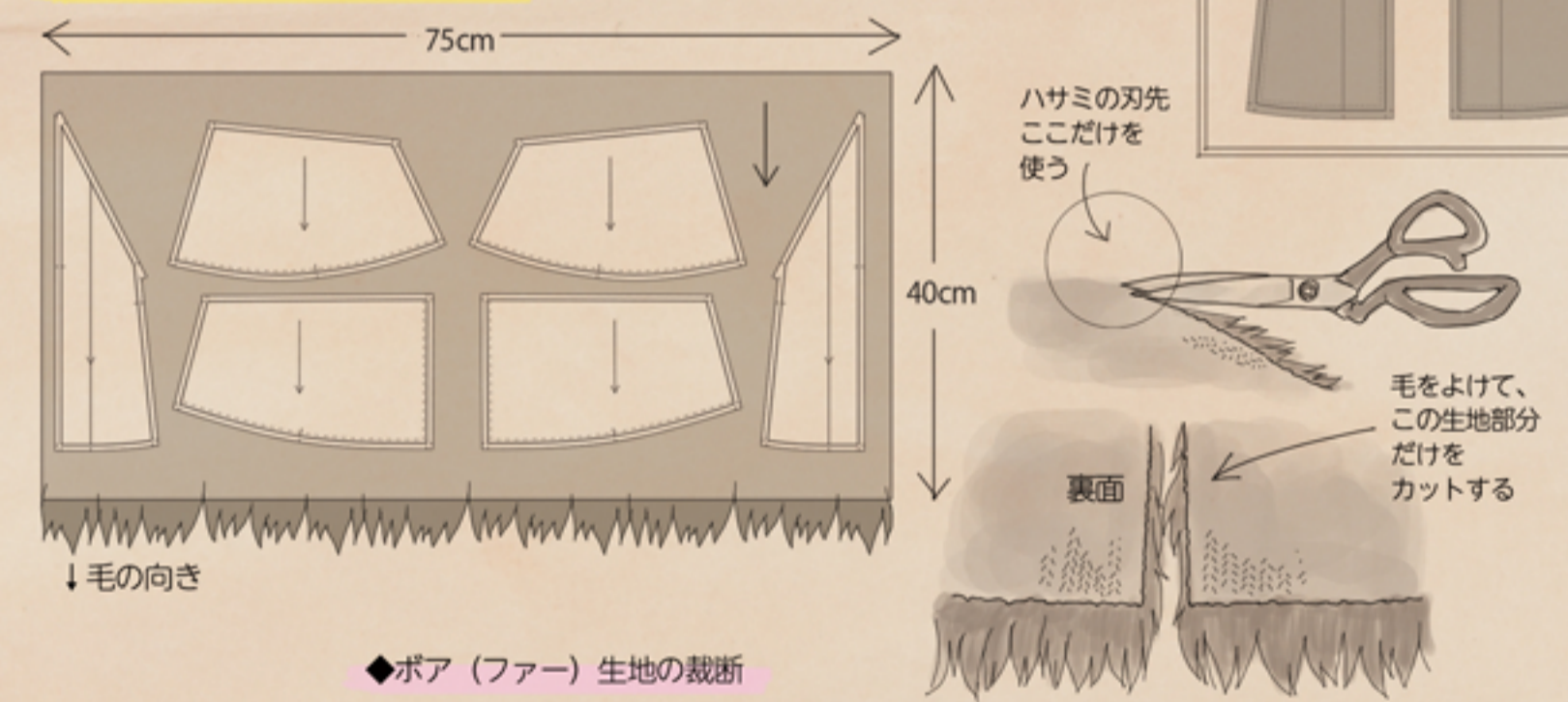
★テープ芯を貼るパーツ

ボタンホール補強と伸び止めのために裏面に貼ります。

マチ付きポケットフラップ+向布(表地)



★スカート/見返し裾切替 (ポア生地)



◆ポア(ファー)生地の裁断

サンプルでは毛足4cmくらいのポア生地を使用しています。裁断するときは裏面を上にしてその上にパターンを固定し、1枚ずつ裁断します。必ず表面の毛の流れをチェックして、生地の毛の向きと、パターンの矢印を合わせてください。裁断するときはなるべく毛を切らないように、ハサミの刃先を使い、ベースの生地部分だけをすくうように少しずつちびちびと切っていきます。

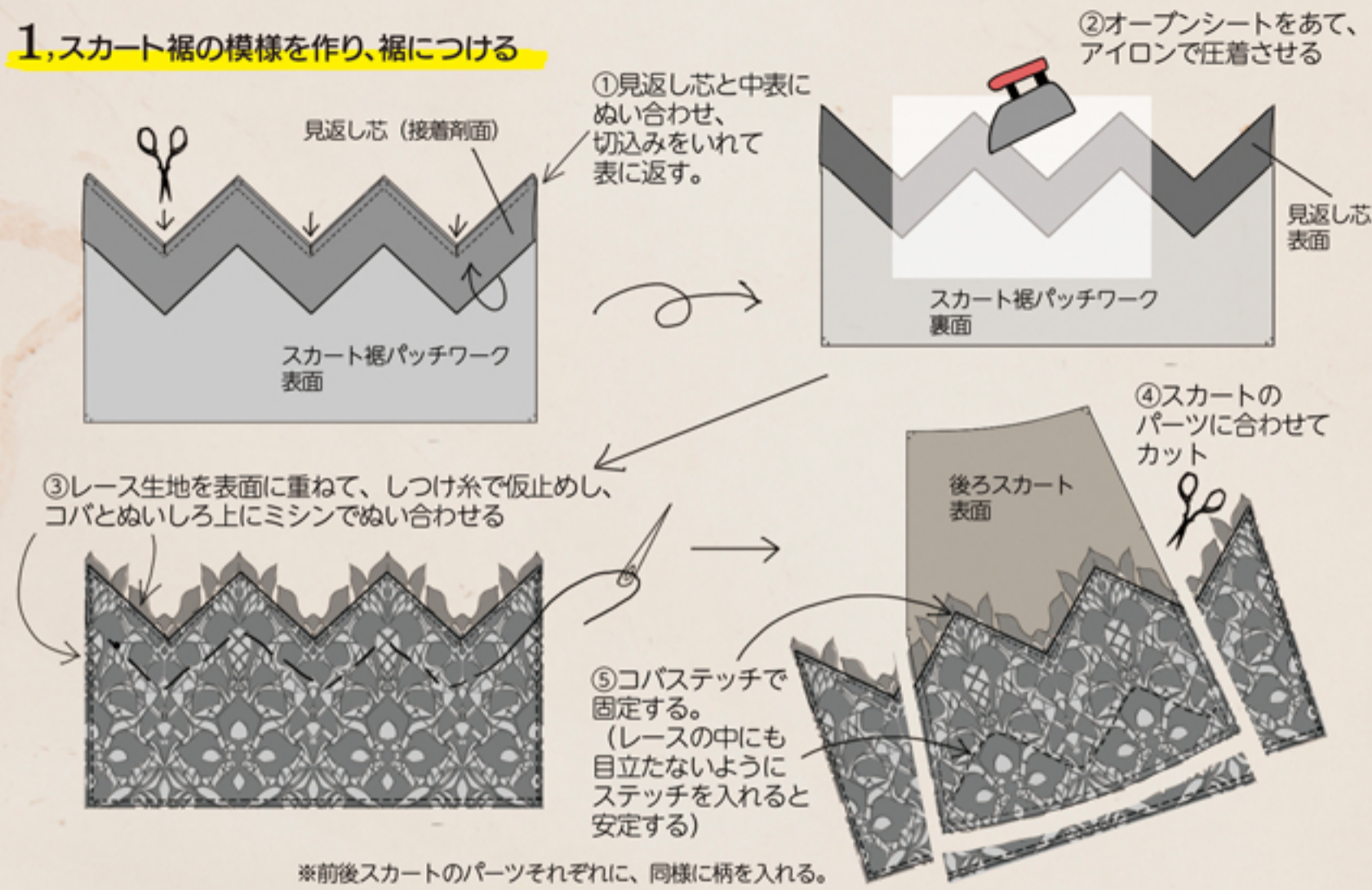
2枚重ねて同時にカットすることはできないので、左右2枚必要なパーツは、1枚とったらパターンを裏返しにして固定し、反転した形状で2枚目を裁断します。



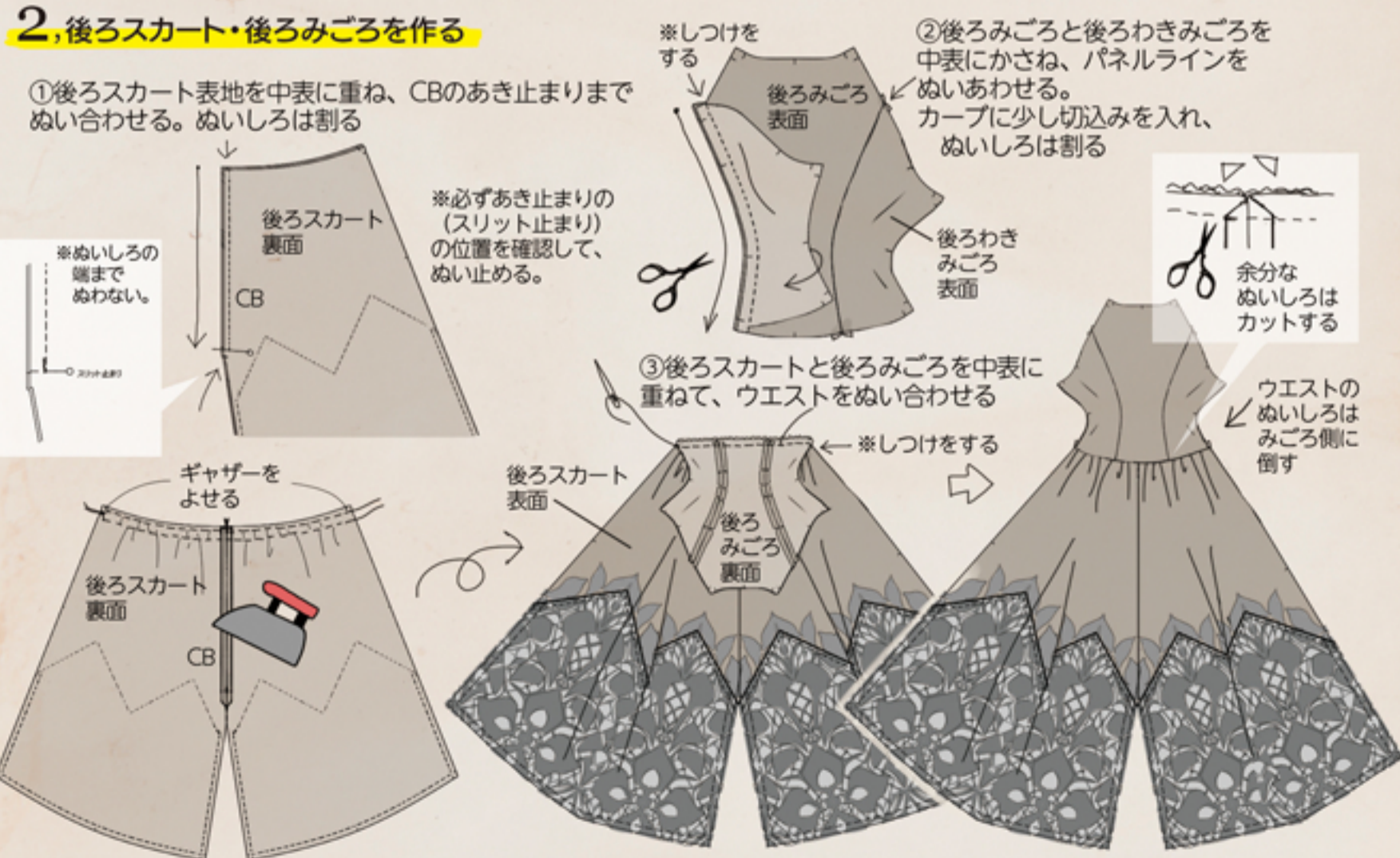
魔法使い風コート[Luna] 作り方

How to Make ong coat [Luna]

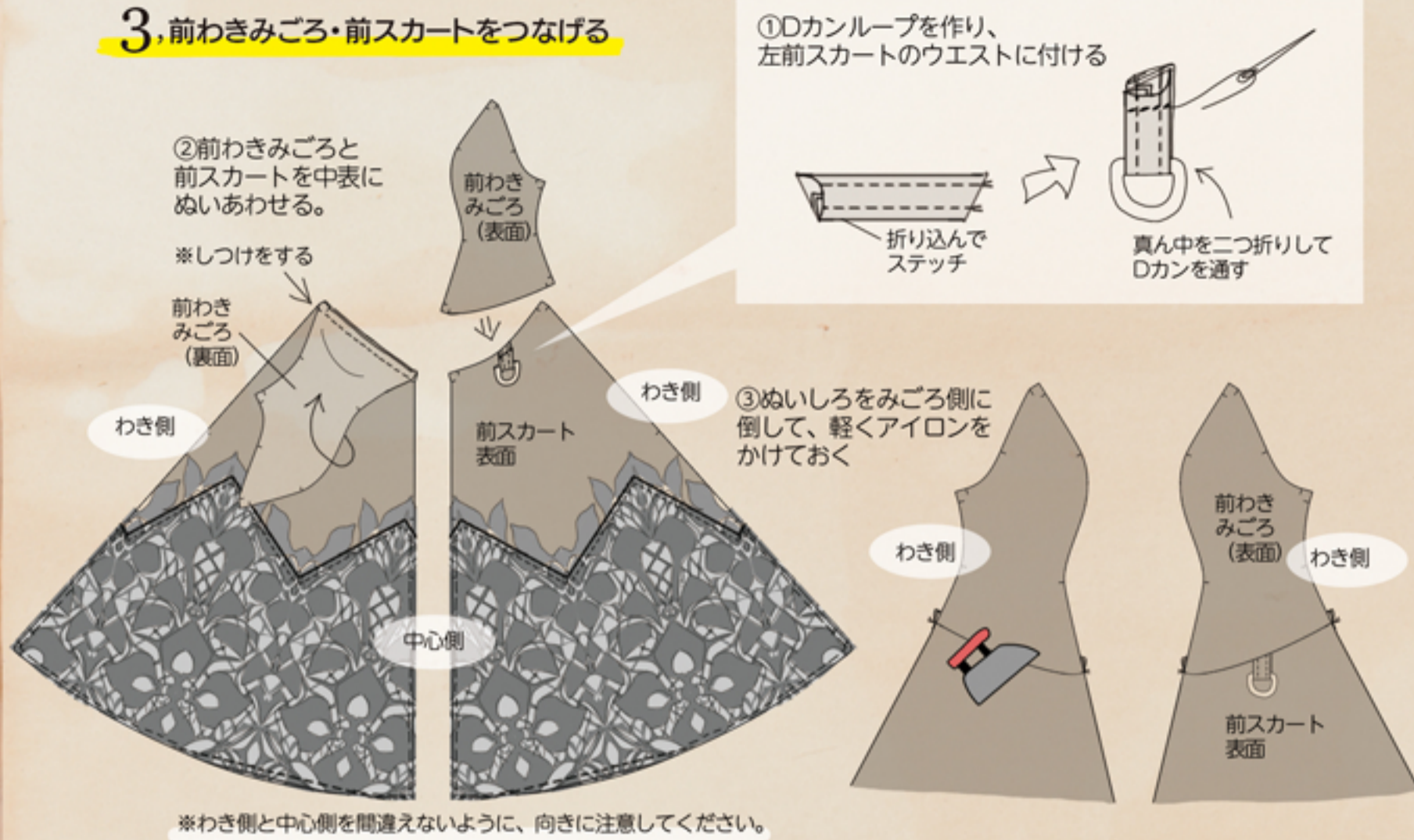
1.スカート裾の模様を作り、裾につける



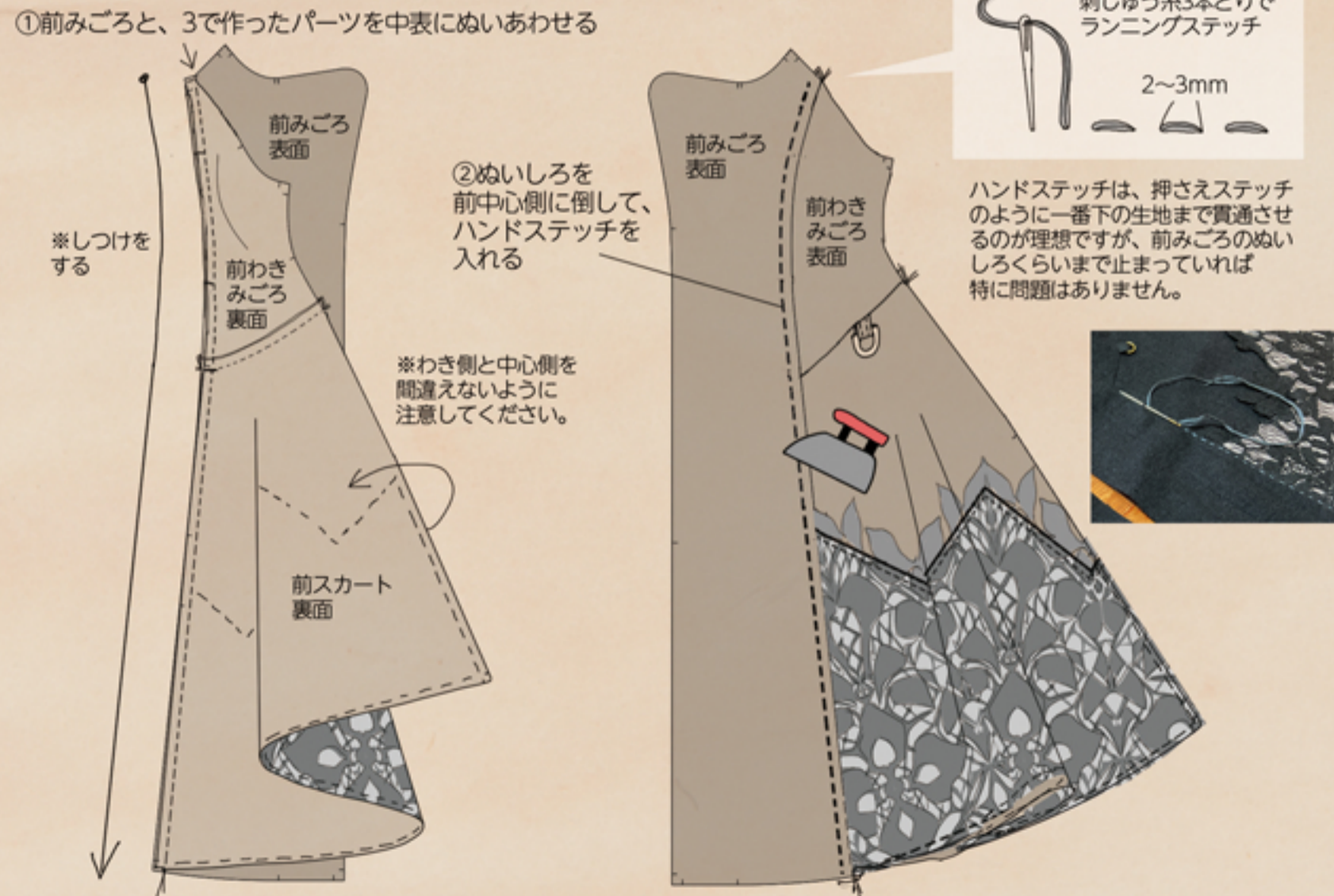
2.後ろスカート・後ろみごろを作る



3.前わきみごろ・前スカートをつなげる

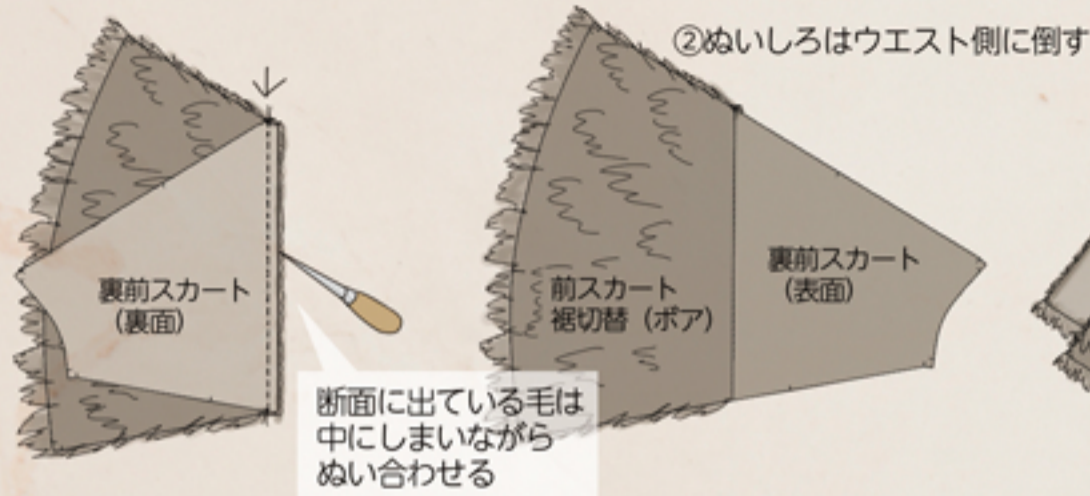


4.前わきみごろ・前スカート・前みごろをつなげる



5. 裏スカート・ボア生地のパーツ作り

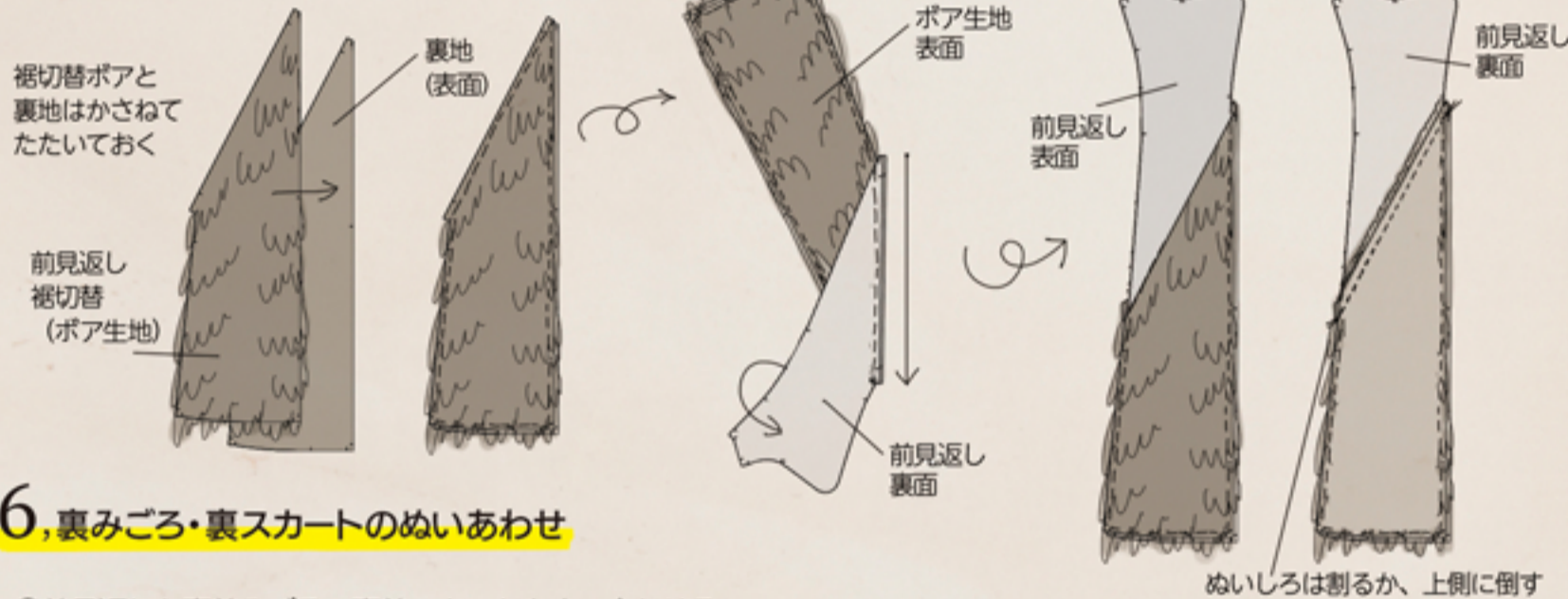
①裏前スカートと、前スカート裾切替（ボア生地）を中表にぬい合わせる



ボア（ファー）生地は熱に弱いのでアイロンをあてない。

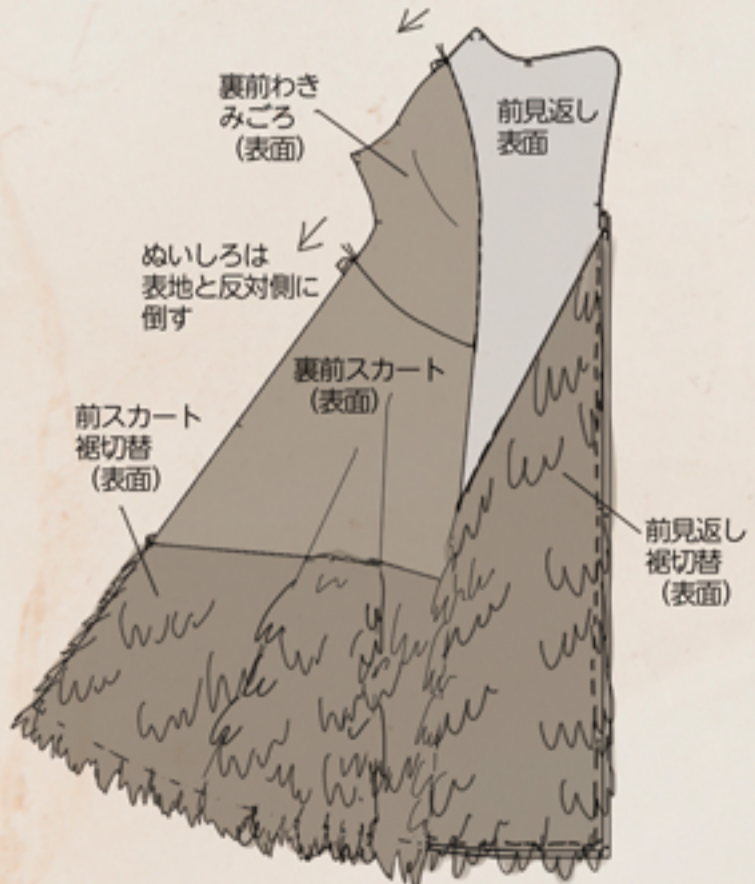


④前見返しと、前見返し裾切替（ボア生地）を接ぐ

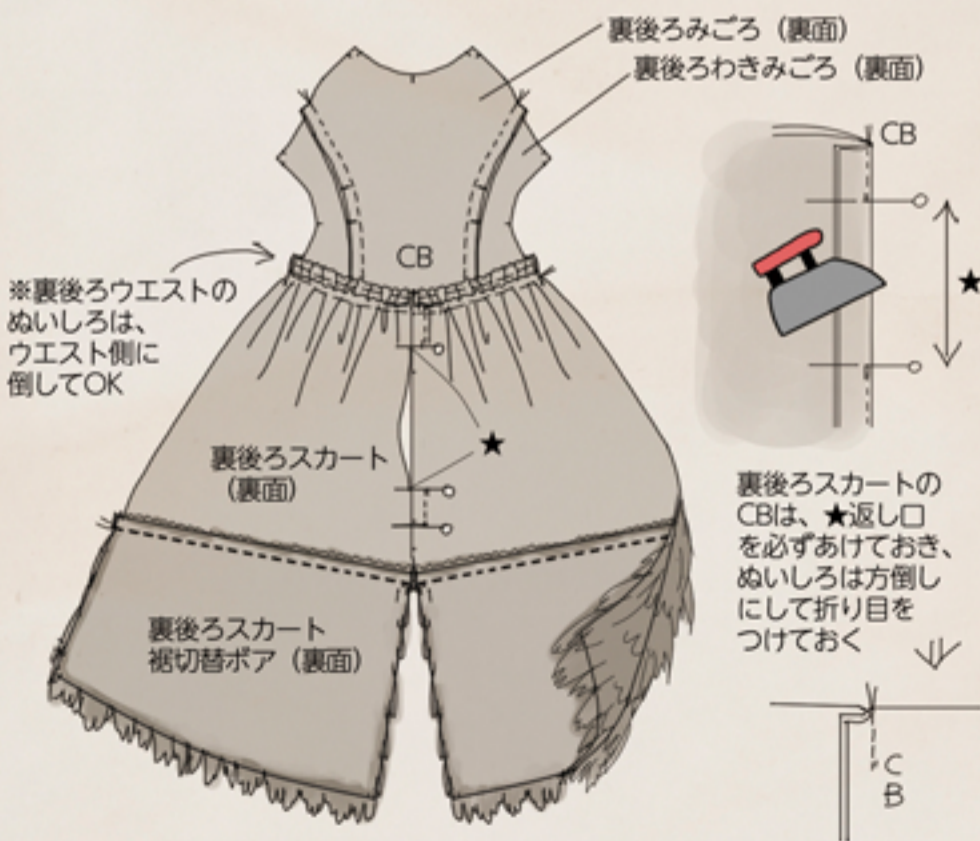


6. 裏みごろ・裏スカートのぬいあわせ

①前見返しと裏前みごろ、裏前スカートをぬい合わせる

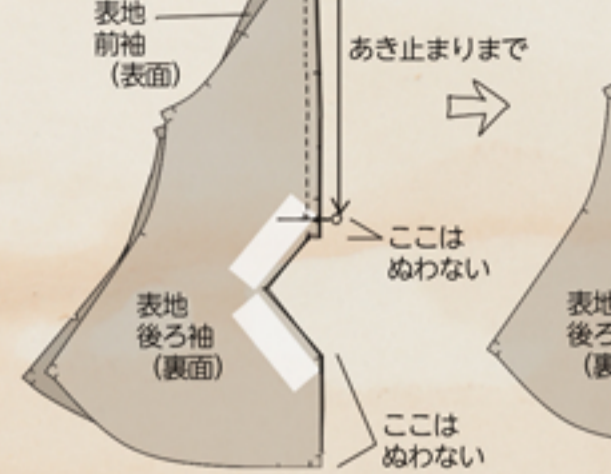


①裏後ろスカート、裏後ろみごろをぬい合わせる

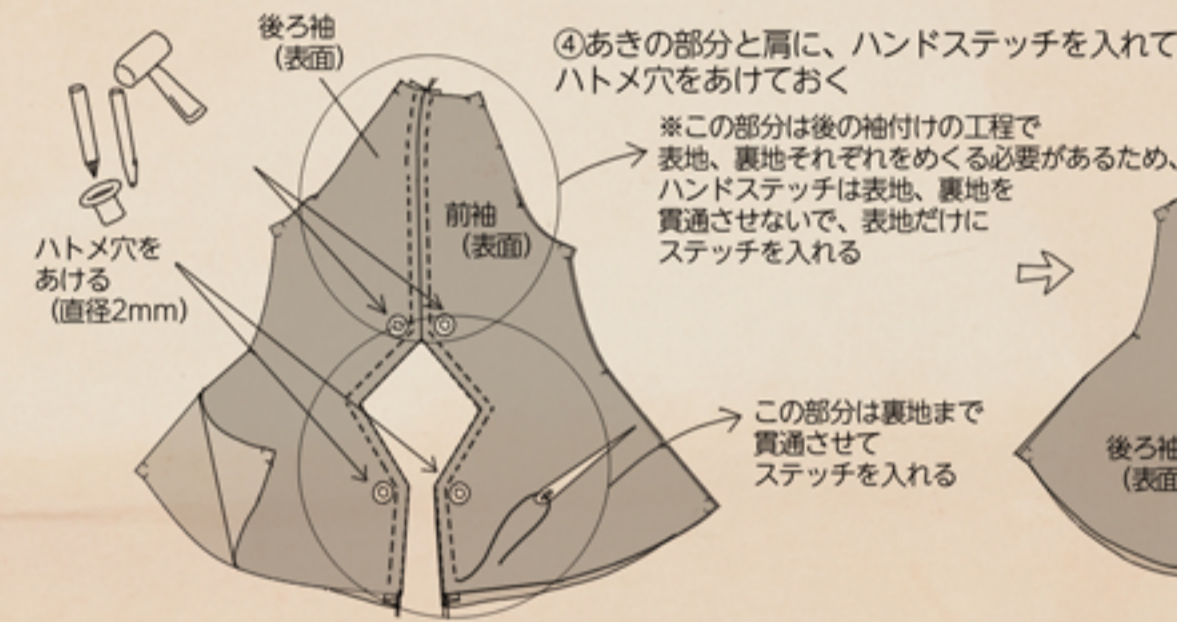
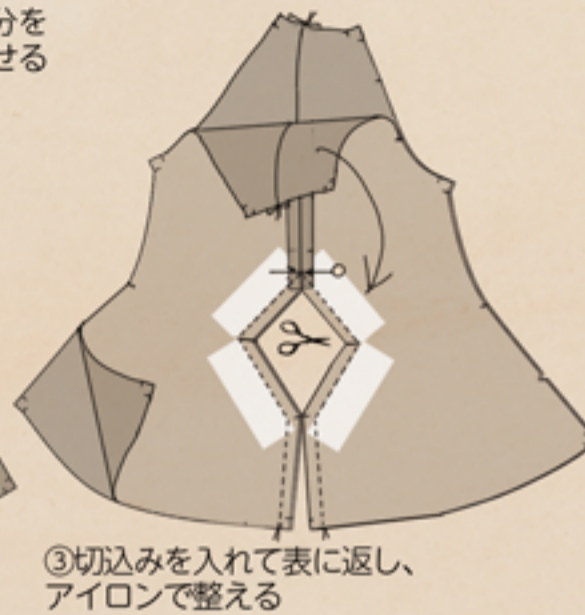
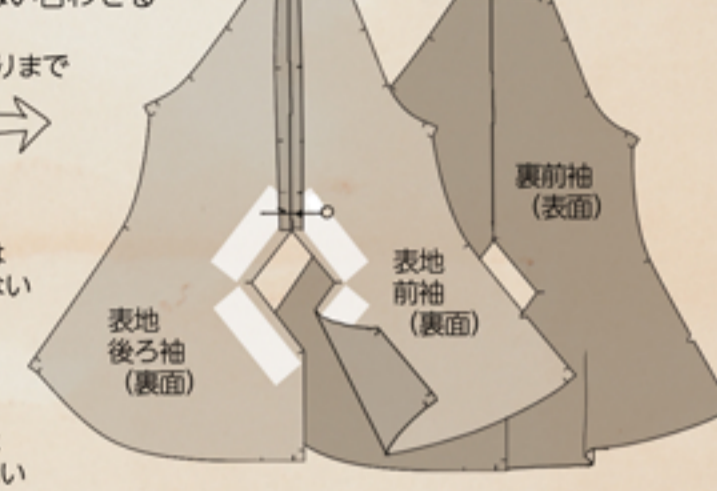


7. 袖のパーツ作り

①前袖と後ろ袖を中表に重ねて、肩をぬい合わせる

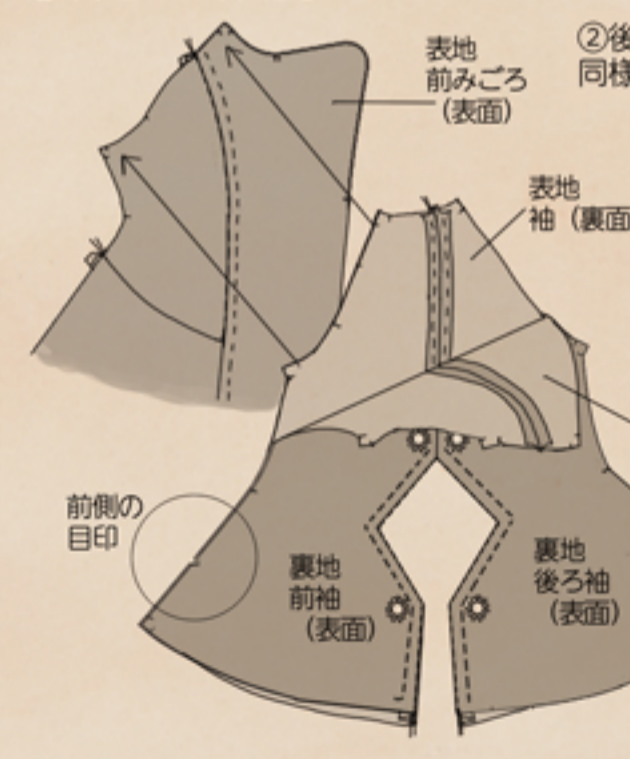


②表地と裏地を中表に重ねて、あき部分をぬい合わせる

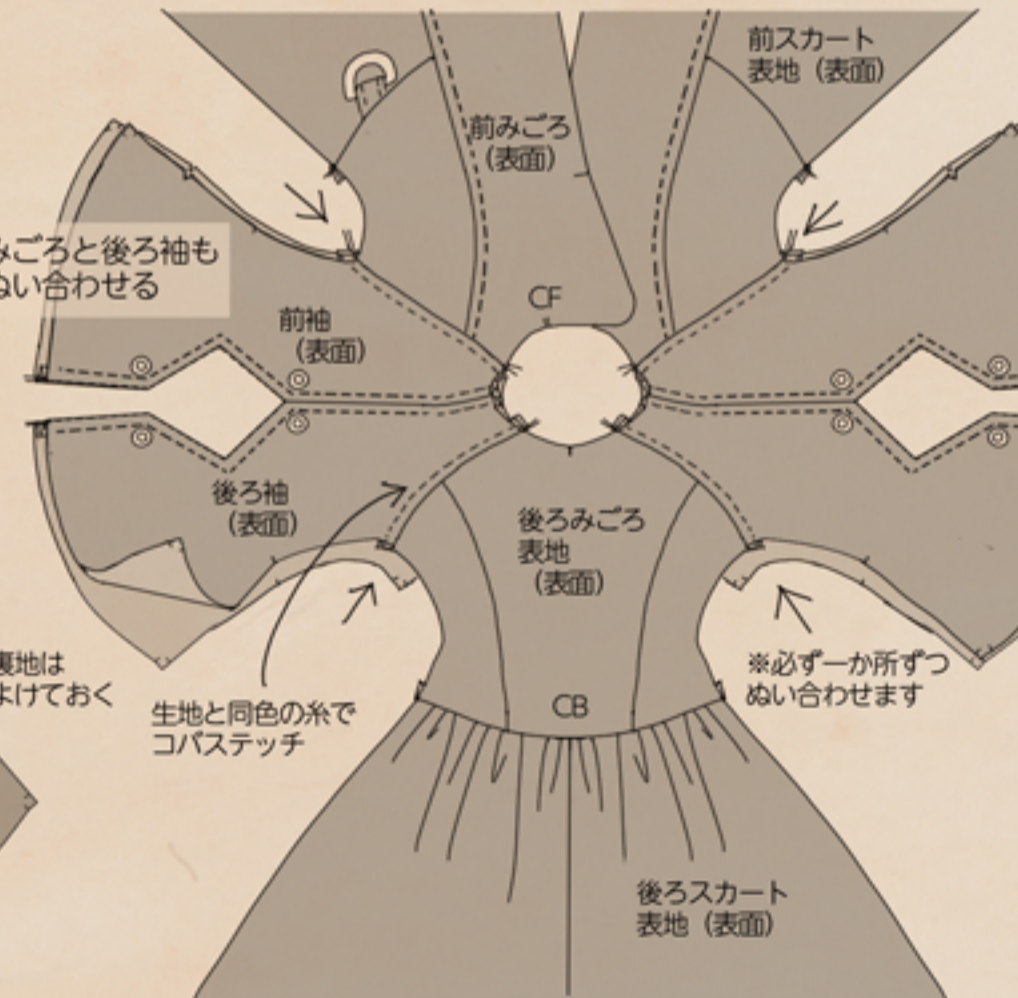


8. 袖とみごろのぬいあわせ

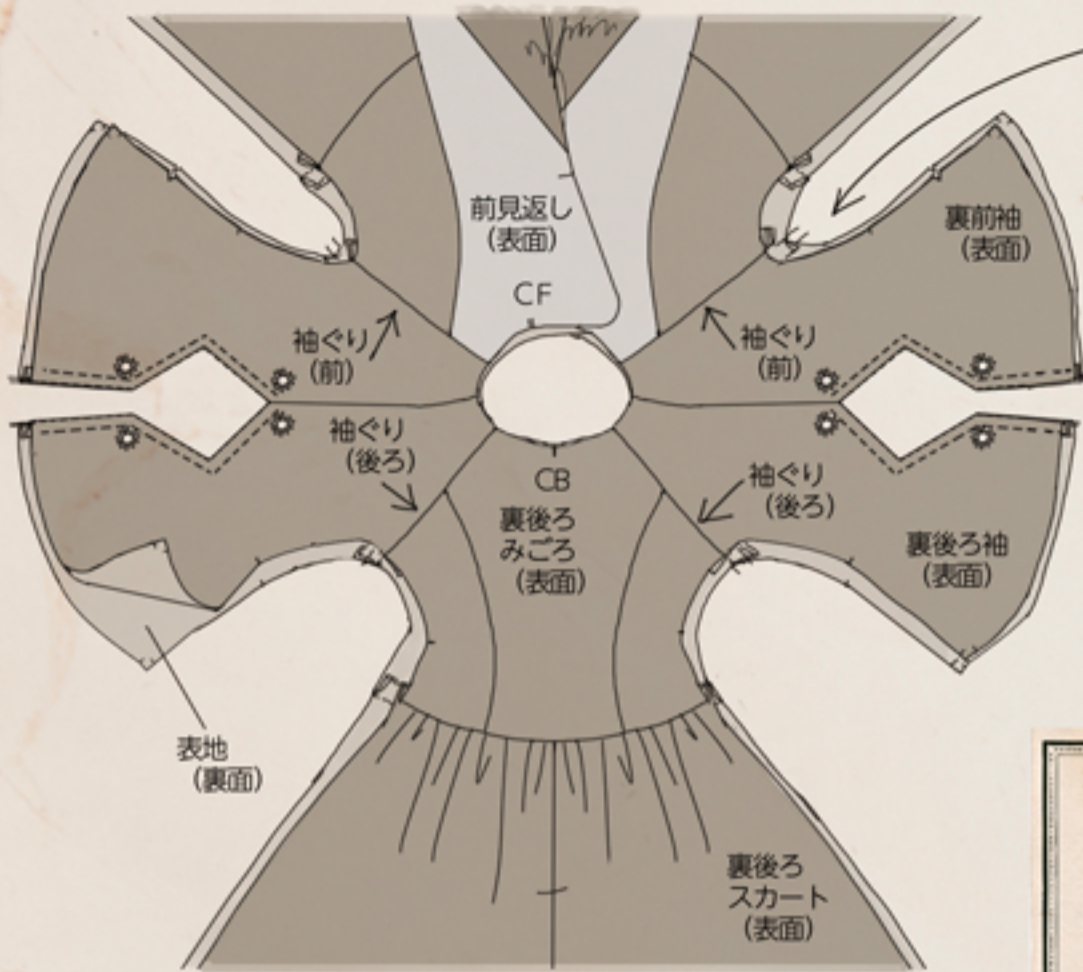
①前みごろ表地と袖表地どうしを中表に重ねて、袖ぐりをぬい合わせる



②後ろみごろと後ろ袖も同様にぬい合わせる



9. 袖とみごろのぬい合わせ(裏地)



①裏地どうしを中表に重ねてつまみ、袖ぐりを一か所ずつぬい合わせる。

★このとき、表地をぬわないように気を付けます。

※袖のあき部分で表地と裏地がつながっているので、少しつまみにくいですが、袖ぐり部分を中表にして、裏地だけをぬい合わせる事ができます。(袖ぐりの合印がずれないようにしつけをすると良いです。)

②ぬいしろは表地と反対側に倒す。



★袖まんじゅうの作り方

袖下にアイロンをかけるときに、あると便利です。

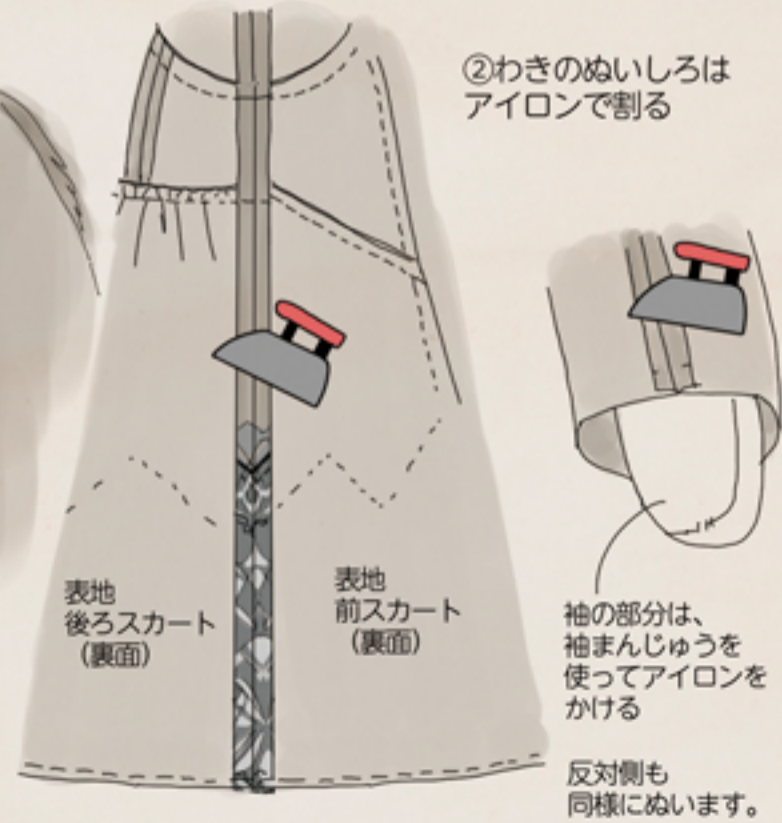
10. わきのぬい合わせ(表地)



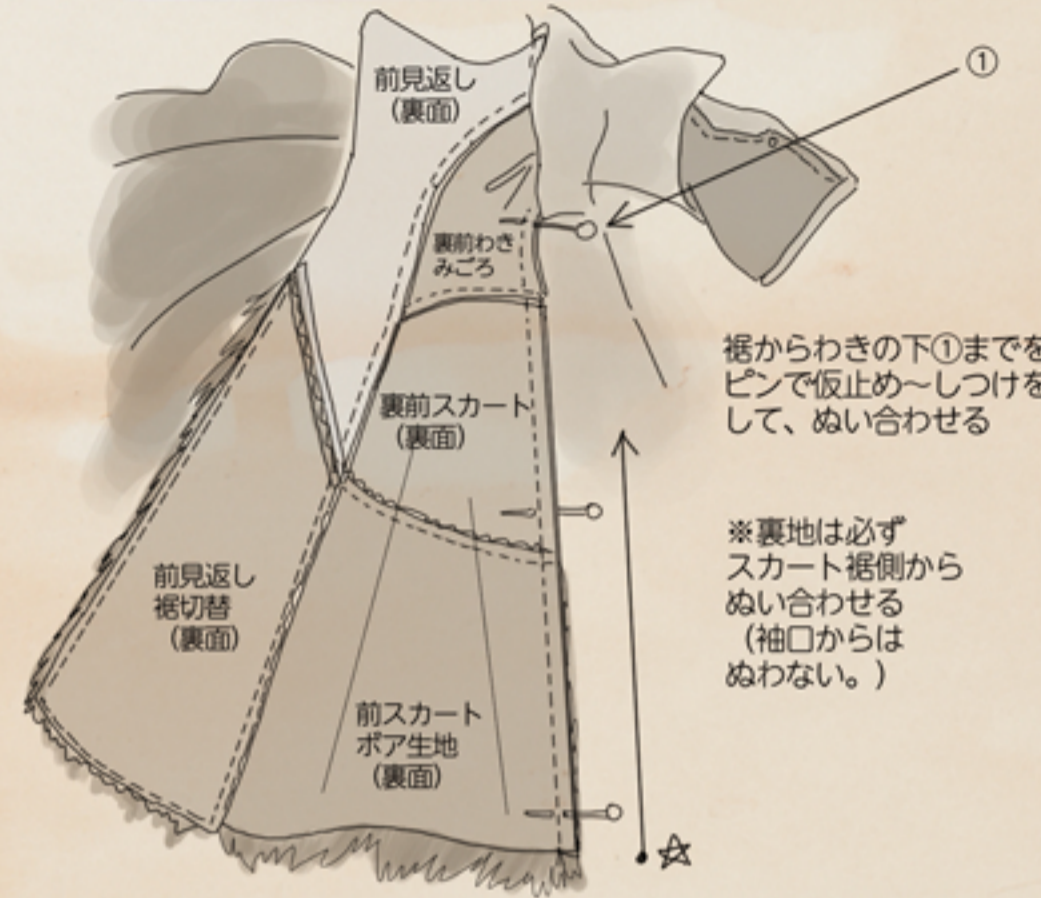
①まずは裏地をよけて、表地前後ろのわきを中表に重ねて合印を合わせながら、裾から袖口までをぬい合わせる。

※袖の部分はすこし裏地が邪魔になるので、はさみ込まないように注意する。

②わきのぬいしろはアイロンで割る

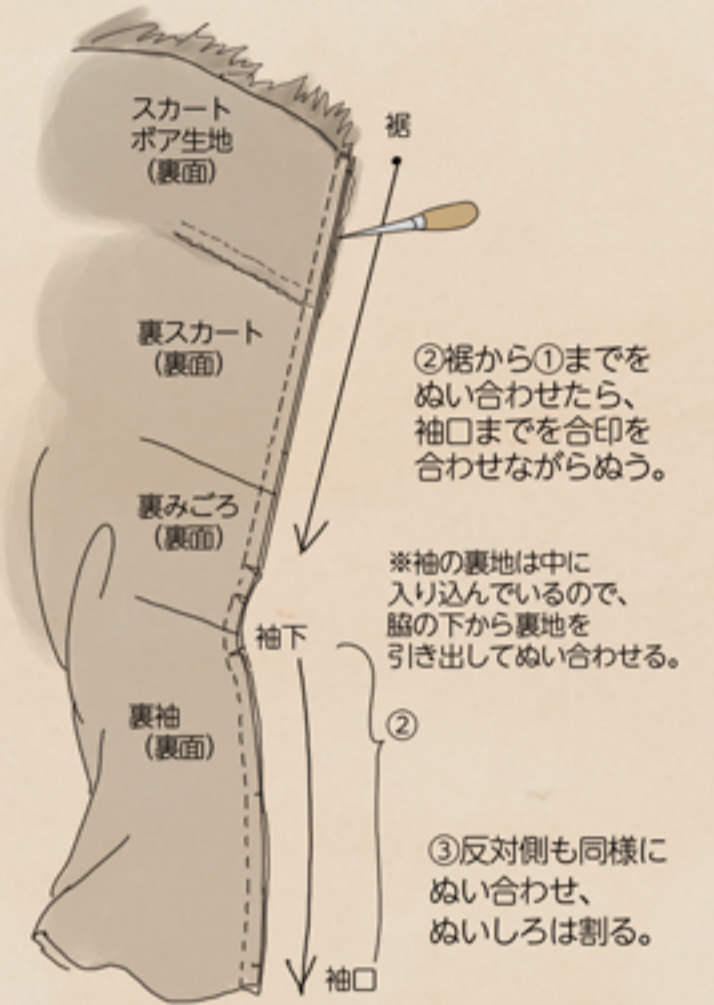


11. わきのぬい合わせ(裏地)



裾からわきの下①までをピンで仮止めしつけをして、ぬい合わせる

※裏地は必ずスカート裾側からぬい合わせる(袖口からはぬわない。)



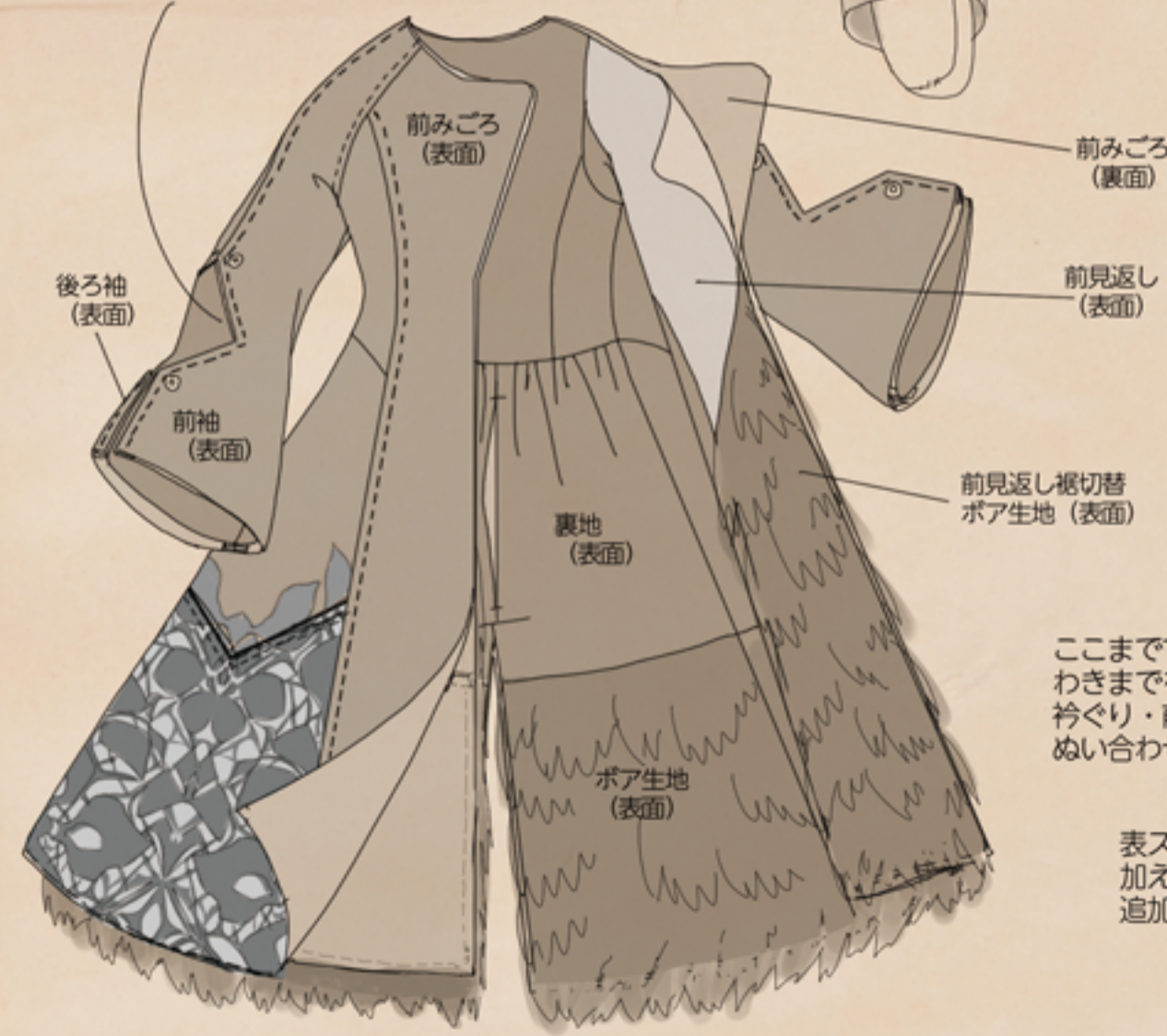
②裾から①までをぬい合わせたら、袖口までを合印を合わせながらぬう。

※袖の裏地は中に入り込んでいるので、脇の下から裏地を引き出してぬい合わせる。

③反対側も同様にぬい合わせ、ぬいしろは割る。

袖の裏地は表地の袖の中に通しておく。

袖の部分は、袖まんじゅうを使ってアイロンをかける



※裏地の袖は少々ぬいにくい所ですが、裾からスタートすれば袖口まで中表にぬい合わせる事が出来ます。

ここまでで表地・裏地それぞれわきまでをぬい合わせた状態となります。袖ぐり・前みごろ・裾・袖口はまだぬい合わせていない状態です。

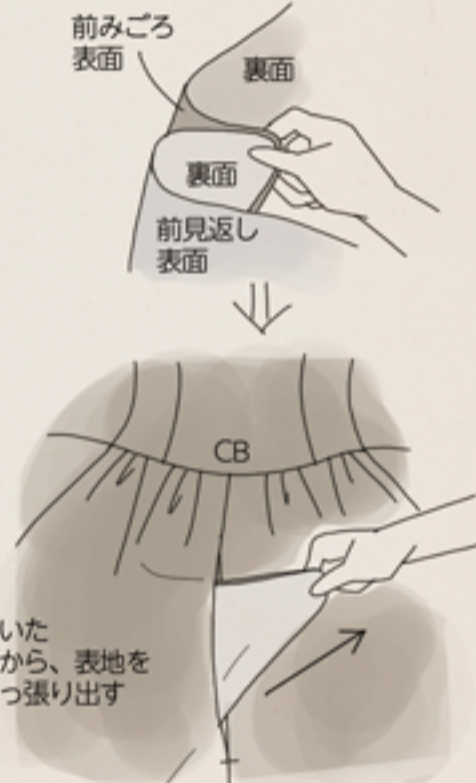
表スカートの裾の柄に更に装飾を加えたい場合、この段階までなら追加しやすいです。

12. 前端～裾を中表にぬい合わせる

①裏地CBの返し口から手を入れて、前見返し・前みごろの表面どうしをくっつけるようにつまみ、返し口から引っ張り出す。



※衿以外に、前端や裾などの部分をつまんでも大丈夫です。
衿先や見返しなどのように合印がある場所だと表面どうしを重ね合わせやすいです。



開けていた返し口から、表地を全て引っ張り出す

②①でつまんで引っ張り出した状態で、見返しの衿付け止まりから前端、裾、CB～反対の衿付け止まりまでぐるっと外周をぬい合わせる。

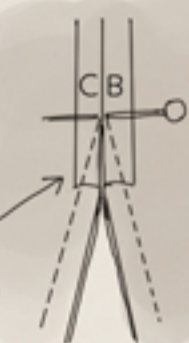


※衿ぐりは縫わない。

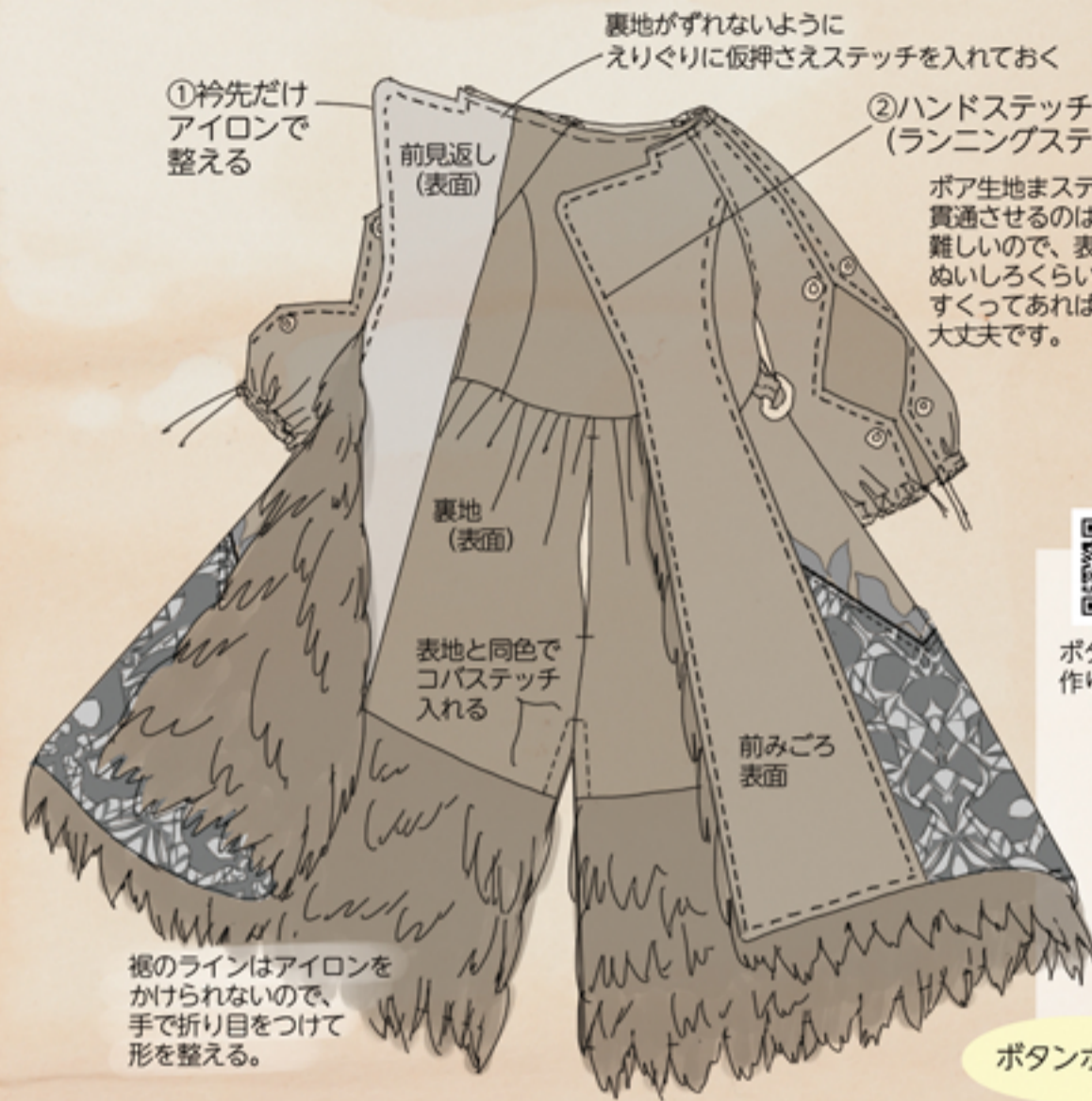
③前見返し、衿の先のぬいしろを細くカットし、切込みをいれて裏スカートCBの返し口から表に返す。

※ボア部分は、なるべく毛を中に押し込みながらぬい合わせます。

CBのスリット止まりは切込みをいれなくても表に返すことができます

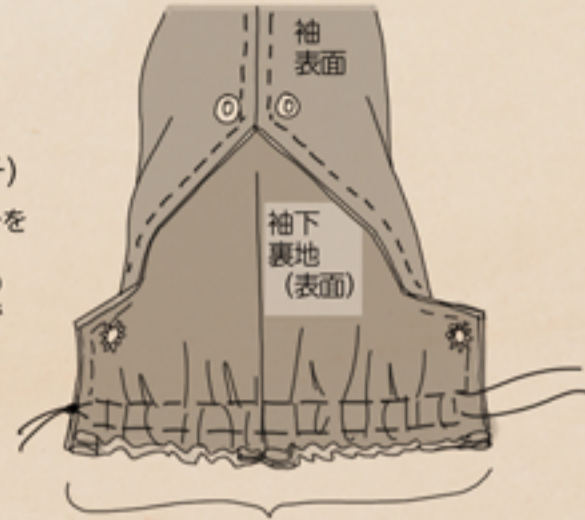


13. 飾りステッチを入れる/袖口にギャザーをよせる



ボア生地まステッチを貫通させるのは難しいので、表地のぬいしろくらいまですくってあれば大丈夫です。

裾のラインはアイロンをかけられないので、手で折り目をつけて形を整える。

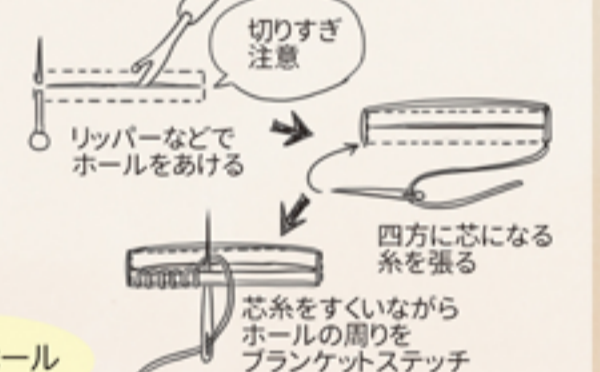


③ギャザーをよせる

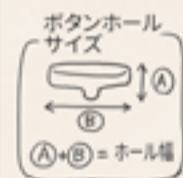


ボタンホールの作り方動画↑

ミシン目最小にして、ホールの形状にすてミシン



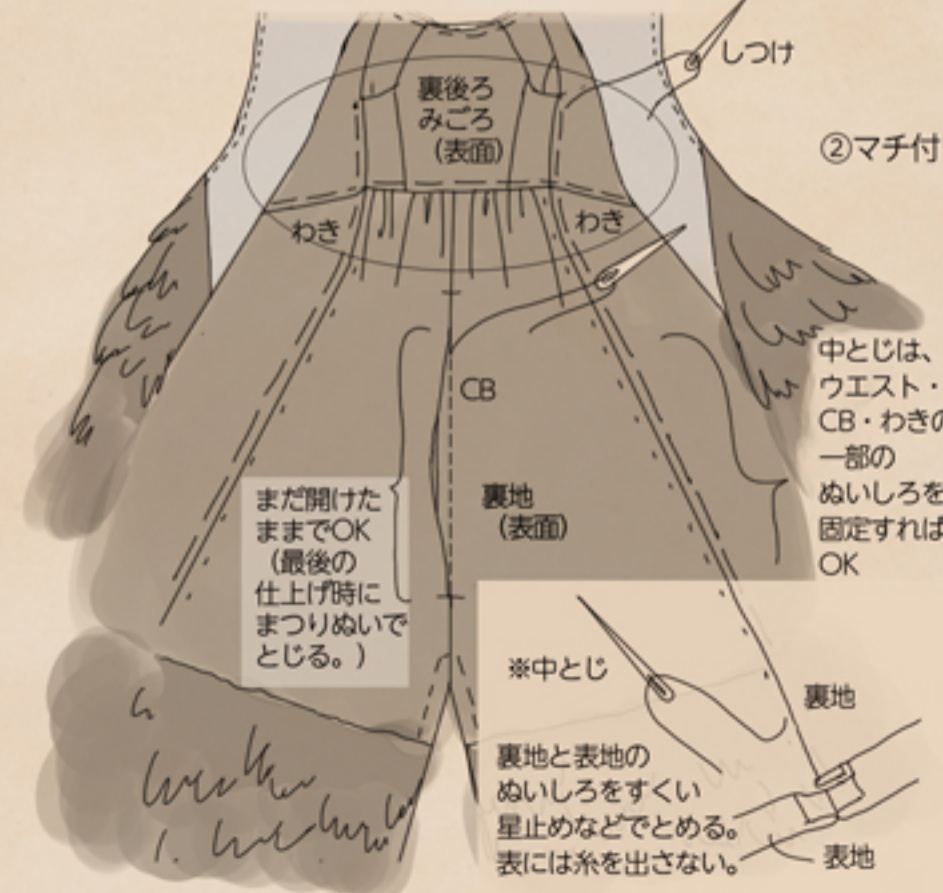
ボタンホール



最後は裏のぬい目を通して残りの糸をカット

14. 裏地の中とじをする/マチ付きポケットを作る

①裏地と表地がずれないようにしつけ糸で仮止めしてから、裏地の中とじ(※)をしておく。



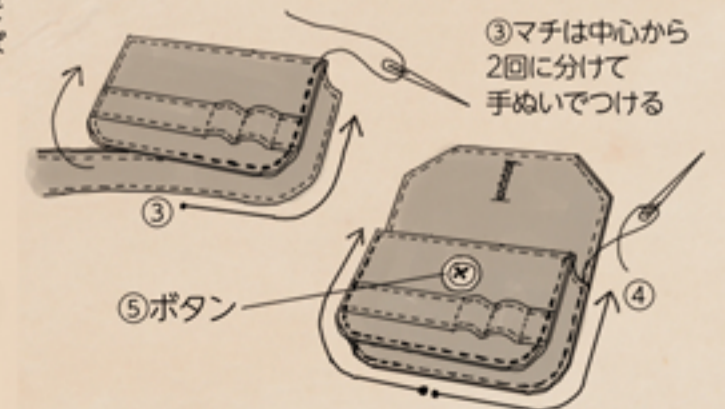
まだ開けたままでOK (最後の仕上げ時にまつりぬいでとじる。)

各パーツを中表にぬい返し、コバステッチ

②マチ付きポケットのパーツを作る



中とじは、ウエスト・CB・わきの一部のぬいしろを固定すればOK



15. 袖口カフと衿のパーツを作る

①内カフを折る
 内カフ (表面) アイロンで出来上がり線に折り目をつける
 表地 (裏面) アイロンで出来上がり線に折り目をつける
 裏地内カフ (裏面) 裏地は袖付け側だけを2つ折りしてステッチ

②外カフを作る
 袖下側どうしを中表に接ぎ、ぬいしろを割る
 外カフ (裏面) ぬいしろをカットして表に戻す
 外カフ (表面) アイロンで整え、ハンドステッチ

③外カフを内カフではさみこむ
 しつけをしてからぬい合わせる
 裏地内カフ (裏面) 外カフ (表面) 表側にブレードをつける
 外カフ (表面) ブレードをつけた面 (表) と裏地内カフを中表に重ねる

④ぬいしろカットし、表に戻してアイロンで整える
 表地内カフ 外カフ (表面) 裏地内カフ

⑤上衿パーツを作り台衿にはさみ込む
 上衿 (裏面) 台衿 (裏面) ハンドステッチを入れる
 上衿 (表面) 台衿 (表面) ⑥ぬいしろカットし、表に戻してアイロンで整える
 表側グレー裏クロ 上衿 (表面) 台衿 (表面) 裏地側グレー表地側クロ

16. 衿をつける

①台衿 (表地) とえりぐりを中表に重ねて、しつけをしてからぬい合わせる。
 台衿裏地側はよけておく
 前見返し 台衿 上衿 (表面) 袖付け止まり
 みごろ表地 (表面) ②ぬいしろを細くカットして台衿の中に入れ、まつりぬいでのとじる

17. 袖口カフをつける

①内カフ表地を袖口と中表にかさね、しつけをしてぬい合わせる。
 内カフ裏地はよける 袖 (表面) 裏地 袖 (表面) 内カフ裏地

②ぬいしろを細くカットして内カフの中に入れ、まつりぬいでのとじる

③ハトメのある部分の生地を突き合わせてぬい止めておく。
 スナップ凸 内カフ裏地 スナップ凹 袖 (表面)

④外カフの裏面にスナップを付ける

18. ケープを作る

①表裏それぞれ肩線をぬいあわせ、ぬいしろを割る
 前ケープ (裏面) 切込み入れる 後ろケープ (裏面) 返し口をあけておく

②中表にして外周をぬいあわせ、ぬいしろをカット、返し口から表に戻す

③アイロンで整えてハンドステッチを入れる
 スナップ凸×5つける 返し口はまつりぬいでのとじる

19. 仕上げ

ブレード・アンティークレースを付ける
 ボタンホール & ボタン
 ケープ表地 ケープ裏地
 刺しゅう糸を通し、結ぶ
 前見返し
 プレード端はほつれ止め液を塗っておく (ボタンホール手前でカットする)

マチ付きポケットをつける
 先にポケロ端2箇所①をぬい止め、外側②をまつる。
 ※ポケロは少したるませる。

裏地の返し口をまつりぬいでのとじる。